

1. 地域・児童・学校の概要

1) 地域

内小友地区は、大仙市の最南端に位置し、南は横手市大森町に隣接した、雄物川と出羽山地に抱かれた平坦地（内小友地区）と丘陵地帯（中山地区）から成る。学区域は、南北5km、東西12kmと広範囲である。歴史のある全校文集の題名になっていて、なだらかな傾斜が特徴の「成島山」がそびえ、学校報「おともがわ」の由来となっている小友川が流れている。

また、秋田自動車道、県立農業科学館、県立支援学校、大仙市丘陵運動公園、スマイルランチ（総合給食センター）等があり、新たな田園都市への中核地域として形づくられている。しかし、アクセス道路ができたことにより、交通量の増加と地区内の曲がりくねった細い道路状況により交通安全指導上の問題を抱えている。

地域の人々は、学校教育への関心が高く、とても協力的である。PTA活動、交通安全会活動、公民館活動、地区児童館活動、スポーツ少年団活動等も盛んであり、小学校の運動会も、内小友地区交流大運動会に組み入れられた形で実施されている。

2) 児童・保護者

今年度全校児童数は、86名で昨年度より1名増である。それでも20年前と比べると半減しており、少子化が急激に進行しているが、ここ数年は90名前後で推移するとみている。

恵まれた自然の中で、児童は保護者や地域の方々に温かく見守られながら育ており、明るく、純真で、人なつっこい。諸調査から「自分には良いところがある」と自覚している子が多いという特徴も見られる。集団登下校グループやたてわりグループ活動により異学年交流が進み、互いを思いやる気持ちも育っている。また、児童は内小友小学校を愛し、勤労意欲に富み、物事に真剣に取り組む。さらに、元気な体づくりをするため、かけ足やなわとび運動の継続により新体力テストの結果にも好影響を与えている。歯の健康・食教育・基本的な生活習慣形成においても家庭と連携し親子でチャレンジするようになった。

全職員による研究を継続していることの成果が児童の学力に反映されている。しかし諸テストの結果から、「読解力」「思考力」「表現力」を高める必要性があることが判明し研修を重ねている。特別支援学級在籍児童および通常学級で支援を必要とする児童に対しても個別の計画にそった指導体制を構築している。

約4km1時間かかる遠距離も含め、ほとんどの児童は徒歩で登下校する習慣が身に付いている。また、中山地区の児童（4名）はタクシー通学をしており、下校時刻や放課後等、下校時刻までの過ごし方に特別な配慮をしている。

保護者は、サラリーマンがほとんどで両親とも市内周辺に勤務している方が多い。学習参観やPTA事業への参加率は高く、何事にも協力的である。

3) 学校

明治7年創立後、昭和50年4月旧内小友小と中山小の2校が統合し、内小友小学校となり、今年度で創立146周年をむかえる。現校舎は、昭和49年建設で老朽化が進んでいるが、平成20年度、体育館と共に耐震補強工事が完了している。また、施設設備の整備として、トイレの改修と消雪用井戸の掘削が行われた。暖房器が1台毎の給油式であり、集中管理の配管式を要望している。

平成7・8年の2カ年にわたり文部省指定・県教委委嘱「心身障害児理解推進校」、平成15・16年の2カ年にわたり文部科学省から「学力フロンティアスクール校」の指定を受け16年には公開研究会を開催している。22年、地域に根ざした食育活動に対し「東北農政局長賞」を授賞している。一昨年度から大曲西中学校区の4校が文部科学省の「心のバリアフリー事業」に指定され、研究を進めている。

グラウンドは校舎に隣接しており、休み時間に遊ぶ子どもが多い。プールが老朽化しており28年度に一部改修工事（底面及び側面の防水塗装）を行った。体育館・グラウンドとも学校開放しており、利用度も高い。

4. 経営の基調

～ 生きる力を育むために ～

1) 思いやりの心・豊かな人間性の育成に努める

少子化や核家族化に伴い、人間関係の希薄化が進んでいる。大人社会の状況を色濃く反映し、友達との関係をうまくつukれない子どもも増えている。本校は全ての学年が単学級であり、人間関係が固定化してしまうことも心配される。そこで、同学年・異学年・大人など様々な人たちとの意図的・計画的な活動を通して、自他の良さや関わり大切さを実感させていきたい。そして、よりよい人間関係を築くための相手に対する思いやりの心や感謝の心、これからの社会で生きていくために必要な、異質なものと他者の違いを受け入れることができる豊かな人間性の育成に努めていきたい。

2) たくましく生きる心と体の育成に努める

生きる力の基盤となるものは、粘り強くがんばる心と健康な体である。困難なことにも意欲的に挑戦し、最後まであきらめずに取り組む粘り強い心と、生涯を通じて健康で安全な生活を送ろうとする自己管理ができる子どもの育成に努めていきたい。

また、基本的な生活習慣の確立、食育、運動の奨励等に保護者・地域と同一視点で取り組んでいきたい。

3) 確かな学力の向上に努める

今年度から、新学習指導要領が完全実施される。その中で求められている、「生きる力」を育むために、社会の変化を見据えつつ、社会に出てからも学校で学んだことを生かすことができるよう、「学びに向かう力・人間性」と「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力」の三つの力をバランスよく育てていきたい。

そのためにも、日々の授業を大切に、子供たちに基礎的・基本的な知識や技能の定着を保障するとともに、学び合い、互いの考えを深め合う学習場面を取り入れ、確かな学力の育成に努めていきたい。その上で、本校の子供たちに必要とされる思考力・表現力を高めるための取り組みを展開し、資質・能力の一層の向上に努めていきたい。

4) 家庭・地域との連携を深め、信頼される学校づくりに努める

学校・家庭・地域が連携しながらよりよい学校づくりに取り組む「地域の核」としての学校でありたい。そのために、地域と連携した活動やキャリア教育の視点を生かしたふるさと教育をこれまで以上に充実させていく。また、地域からボランティアを募集するなど、地域の力を積極的に活用した教育活動の推進を図るとともに、地域の活性化にも貢献できる学校でありたい。

5 経営の全体構想

日本国憲法

教育基本法

学校教育法

関係法令

秋田県学校教育が目指すもの 豊かな人間性をはぐくむ学校教育

地域に根ざしたキャリア教育の充実

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 思いやりの心を育てる | 2 心と体を鍛える |
| 3 基礎学力の向上を図る | 4 教師の力量を高める |

“「問い」を発する子ども”の育成

南の学校教育の重点

授業で勝負

～子どもも教師も 目が輝いている授業～

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 「社会に開かれた教育課程」の実現 | 2 確かな学力の向上 |
| 3 豊かな心と健やかな体の育成 | 4 実践的指導力を高める研修の充実 |

大仙市の教育目標

生きる力を育み、社会を支える創造力あふれる人づくり
～共(ともに)創(つくる)考(かんがえる)開(ひらく)～

【学校教育目標】

にこにこ きらきら ゆめに向かって

～みんなで育む 豊かな心・健やかな体・確かな学力～

きらきら光る学校	きらきらひかる子ども	きらきらひかる教師
<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな人間関係や思いやりの心にあふれる学校 ○心身共に健康で活力あふれる学校 ○生きる力を育む学校 ○家庭、地域の信頼に応える学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いやりのある明るい子ども ○ねばり強くやりとげようとする子ども ○進んで学習に取り組む子ども ○郷土を愛する心豊かな子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもとのふれあいを大切にする教師 ○わかる、できる、楽しい授業を創造する教師 ○信頼と協調を大切にする教師 ○心身共に健康で明るい教師

【子どもたちに育みたい資質・能力】

人の考えを聞く力・自分の考えを深める力・自分の考えを伝える力

<p>(1) 思いやりの心・豊かな人間性の育成に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 縦割り活動等を通しての人間関係の深化 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り活動の意図的・計画的な実践 ・自他の良さを活かし認め合う活動の充実 ・あいさつの励行 ② 多様な教育活動、体験活動の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な校種間連携活動の充実(保小、小小中、大曲支援学校) ・読書活動の推進 ・事前、事後指導の充実 	<p>(2) たくましく生きる心と体の育成に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 困難なことにも意欲的に挑戦し、最後まであきらめずに取り組む経験の蓄積 <ul style="list-style-type: none"> ・適切なめあての設定と振り返り ・がんばりを称揚する場の設定 ・互いに励まし合い、助け合う集団作り ② 食育、運動の奨励 <ul style="list-style-type: none"> ・業間運動(マラソン・縄跳び)の継続 ・児童会による外遊びの励行 ・栄養士による食育指導の実施
<p>(3) 確かな学力の定着に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 話し合い活動の意図的設定による表現力・思考力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・相手の考えや意図を捉えて聴き、質問力を向上させる指導の工夫 ・ねらい達成に合わせた話し合いの工夫(「知識構成型ジグソー法」等の実践) ・様々な場面での発表機会の設定による、発信力を高める工夫 ② 「わかった」「できた」を実感できる授業実践 <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定、発問の工夫 ・児童の思考を揺さぶる発問の吟味 ・視点を明確にした学習の振り返りの充実 	<p>(4) 家庭・地域との連携を深め、信頼される学校づくりに努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域と連携した活動やキャリア教育の視点を生かしたふるさと教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携しての学校行事の推進 ・地域行事への積極的な参加・貢献 ・ふるさと博士への積極的な参加 ② 地域に開かれた学校作り <ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子が分かる学校報、学年通信、保健便りの発行と学校HPの充実 ・PTA授業参観や各種行事等の学校公開の推進 ・保護者アンケート等による情報受信